

愛知県福祉サービス第三者評価事業 評価結果

①第三者評価機関名

ショーマネ

②施設・事業所情報

名称：サイクルサービスなごや	種別：就労継続支援A型事業所
代表者氏名： 稲葉 勝哉	定員（利用人数）： 20名
所在地： 愛知県名古屋市西区栄生3丁目14-13	
TEL： 052-551-2662	
ホームページ： https://csn758.wixsite.com/website	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2013年9月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：一般社団法人サイクルサービスなごや	
職員数	常勤職員： 6 名 非常勤職員 7 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	サービス管理責任者 1名
	賃金向上達成指導員 1名
施設・設備の概要	（居室数）
	鉄骨造り 1階建て
（設備等） 作業室、多目的室、相談室、事務室、トイレ	

③理念・基本方針

相互尊重 （私たち）・・・相互尊重が実践されると平和で安心な会社・社会になる
相互感謝 （お客様、取引先、サービス）・・・お互いに喜ばれることをすると必要な存在（信頼される存在）になる
新価値創造 （社会）・・・→社会にイノベーションを起こすこともできる

④施設・事業所の特徴的な取組

『サイクルサービスなごや』では障がいを持った方の経済的な自立と地域貢献を目的として活動しています。全国的にもめずらしい「リサイクル自転車の製造・販売」をはじめとした幅の広い業務をおこなっています。可能性と成長の喜びを引き出し、将来的に自立して暮らしていける姿を理想として、その他ビジネスホテルの客室清掃やコインパーキングの駐車場清掃などの事業を行いながら、不定期に駐車場の設営や撤去、市営住宅等の除草作業などの業務に取り組んでいます。社会に必要とされる存在になるため内職作業は一切行わない事業所です。
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 6 年 9 月 1 日 (契約日) ~ 令和 7 年 1 月 10 日 (評価決定日) 【令和 6 年10月21日、11月25日 (訪問調査日)】
受審回数 (前回の受審時期)	初回

⑥総評

◇特に評価の高い点

「第三者評価」による意識変化

今回第三者評価を受審し、事業所の価値を再認識する子ことや改めて他者からの視点で見直すことの大切さを感じ変化が生まれている。サービス向上の為に對しての方向性の確認を行うことにより今後の支援の質などがよい良くなっていく。と意識が大きく変化している。

「社会に必要とされたい」ニーズに応える

就労継続支援A型事業としての役割を果たすため、全国的にも珍しい「リサイクル自転車の製造・販売」を中心とした生産活動を行い、段階を得ることに専門性の高い資格の取得にも尽力している。また「リサイクル自転車の製造・販売」のみではなく利用者の個々のニーズにも応えられるよう清掃なども取り入れ多種多様な対応を行っている。将来的な一般就労を目指し社会に必要とされる人材育成に取り組んでいる。

「継続可能」な取組

全国的にも珍しい「リサイクル自転車の製造・販売」と共に放置自転車の回収を行いリサイクル・リユースに積極的な姿勢が見える。SDGSへの意識も高く地域での自転車屋としての役割も果たしている。

◇改善を求められる点

「見える化」の整備

職員同士のコミュニケーションを円滑に行うためにマニュアル作成や指針の作成について高い意識での対応を求めたい。新規採用職員が仕事へ迅速に対応できるように様々な物事の可視化に取り組むことが求められる。

「リスクマネジメント」に対する取組み

利用者の事故等に対する未然防止や再発防止の取組みに課題を残している。自転車整備を行うにあたり工具の管理方法を徹底すること。ヒヤリハットについては、細かなことでも拾い集め、分析・検討・改善等が行われる仕組み作りが望まれる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

色々なことが聞けました。
課題についても見直ししながら支援に活かしていきたいです。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目（64項目）について判断基準（a・b・c三段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

【共通評価基準】

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	障1	a・b・c
<p><コメント></p> <p>法人理念が明記がありそれを踏まえ基本方針が明示されている。理念・基本方針等は、パンフレットやホームページに掲載されている。また事業所内の利用者や職員を含め利用者の目に入りやすい相談室に掲示されており、支援の現場実践につなげている。1年に1回、利用者を含め行われる全体ミーティングで確認されている。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	障2	a・b・c
<p><コメント></p> <p>法人内では、月に定例として意見交換を目的とした会議が開かれており地元の福祉に関連する会議等に参加しての情報収集、地域福祉計画を参考に指針の把握、関連機関、地域の団体との連携をし日常的な地域活動を通じて把握に努めている。また経営者同士の情報交換も行っている。</p>		
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	障3	a・b・c
<p><コメント></p> <p>経営課題については財務状況、組織・職員体制、人材育成について現状を分析し具体的に進めているが福祉サービスの課題については現状分析が不十分なので職員へ周知を図り、分析をしっかりとおこない全職員が一体となり取り組むことを期待したい。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	障4	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事業所と職員の将来性も考えながら、管理者が思い描いている中期的な構想はありビジョンは掲示されている。中堅職員も理解はあり計画の理解はある。将来像を描いた長期的な計画および収支予算も策定し、必要に応じて見直しを行うことが望ましい。</p>		
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	障5	a・b・c
<p><コメント></p> <p>単年度の事業計画は、中長期計画の内容が反映されたものであることが望まれるため、中長期計画、中長期収支計画が策定された上で、単年度の事業計画を策定し全体共有していくことに期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	障6	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事業計画は、事業の方向性等、定例ミーティング会議を通して意見収集が行われ、共有されている。事業計画を策定する段階から全職員が参画できるような仕組みや、周知、理解をより促進する体制作りを期待する。</p>		

I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	障7	a	b	c
<コメント> 年1回、全体ミーティングの場で利用者と共に次年度の方向性は伝えられているが、案内や説明の範囲での表現に留めている。事業計画は、福祉サービスの提供に関わる事項であり、利用者の参加を促す為にも、利用者、その家族にも周知され、事業計画の意図が理解される工夫が望まれるため今後の向上に期待したい。				

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

				第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。				
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	障8	a	b	c
<コメント> 今回第三者評価を受けるにあたり自己評価を実施し、人事考課を行うため職員の面談を定期的実施している。更なる福祉サービスの質の向上に取り組む姿勢がうかがえるので、今後も年に1回の自己評価と、定期的に第三者評価を受審されることを期待する。				
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	障9	a	b	c
<コメント> 課題は明確にされ職員間で共有されているが、明確な文章化はできていない。課題解決の検討過程を記録し、改善策を計画書としてまとめるなど、課題解決への道を明確化して共有した上で計画的に実施されることを期待する。				

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

				第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。				
Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	障10	a	b	c
<コメント> 行われる会議や研修を通じて方針や役割を明確にしているが、文章化されておらず不在時の取り決めはされていない。災害時など有事の際の役割についてなど細分化を更に行う取り組みや不在時の権限委任については文書として明確にされたい。				
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	障11	a	b	c
<コメント> 管理者は新たに入職した職員に対し、運営規定などに基づき、法令順守などの取り組み姿勢に関しての研修をしている。関連法令については最新情報を厚生労働省や自立支援協議会などから入手して周知する取組を進めている。内部研修で修得した内容はミーティング等で報告し全職員にて共有している。				
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。				
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	障12	a	b	c
<コメント> 業務において職員の意見を聞き取り、事業所の運営に反映させている。コミュニケーションに関しても意見の言いやすい職場環境になっていると感じる。職員研修やコミュニケーション頻度を増やす事を通じて困難な状況のについて必要な情報収集と支援の伝達に努めている				
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	障13	a	b	c
<コメント> 人事労務や財務などの現状分析については、代表者が中心に行っていることが多く見受けられる。中心になっているのは代表者にて話し合いが行われている。組織体制として管理者を中心とした検討会を行い経営状況の改善・意見提言などを行っていきける環境作りに取り組むことに期待したい。				

II-2 福祉人材の確保・育成

第三者評価結果			
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	障14	a · b · c	
<p><コメント></p> <p>研修の参加の機会を増や資格取得の推進を行っているが具体的な採用計画書はない。事業所としての定着に向けた課題を整理して、職員全員から意見を吸い上げ、具体的な計画を作成して取組まれたい。</p>			
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	障15	a · b · c	
<p><コメント></p> <p>人事考課と定期的に面談より評価を行っているが、キャリアパスの構築、人事考課制度の導入、目標管理制度による人材育成、これらの相互の関連性が薄く、連動性のある運用とはなっていない。今後は「キャリアパス表作成」「個々での目標管理」など職員一人ひとりの成長が把握できる取組をされたい。</p>			
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	障16	a · b · c	
<p><コメント></p> <p>採用時にライフバランスの聞き取りにて働きやすさや待遇の考慮を行っている。管理者は個人面談などで要望等を把握して有給の取りやすい環境作り、ハラスメントの勉強会より相談窓口の明確化、個々の事情に応じた勤務など柔軟に行われるよう配慮に努めている。</p>			
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	障17	a · b · c	
<p><コメント></p> <p>年間での研修予定や参加職員と研修内容は記録されている。生産活動における資格取得を個々で精査しおこなっている。今後は職員ごとの研修履歴や経験、技術レベルなどを整理し記録しておくことや各職員による目標設定やこれをもとにした個別面接などを体系化し実施していくことも期待される。</p>			
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	障18	a · b · c	
<p><コメント></p> <p>年度研修計画に基づいて研修を行っているが、今後は研修成果の記録、研修計画の見直し及び非常勤職員への参加拡大が望まれる。今後は全職員の資格・免許保有状況や研修希望講座等を考慮して、研修受講できるように勤務体制を構築していくなど全体的な実地を行うことに期待したい。</p>			
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	障19	a · b · c	
<p><コメント></p> <p>研修の参加は推奨されており、推薦だけでなく職員の関心の強い研修に参加できるよう努め、人員配置も考慮されている。研修を受けた成果の評価・分析を行い、次の研修計画に反映させる取組を実施されたい。</p>			
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	障20	a · b · c	
<p><コメント></p> <p>受け入れは未だないが、実習生受け入れが可能な体制を整備している。実習オリエンテーションや振り返り等の受け入れ体制への整備も充実化していくことに期待したい。</p>			

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果	
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	障21	a	b · c
<p><コメント></p> <p>事業所ホームページを作成して、方針、地域連携活動実施内容、事業内容詳細について紹介している。定期的に更新を行い、透明性を確保するよう努めている。</p>			
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	障22	a	b · c
<p><コメント></p> <p>必要に応じて社会保険労務士を依頼し助言を頂いている。取引については、会議の議題として取り上げ確認を得るように対応している。また閲覧可能な資料についても掲示があり視覚化と周知に努めている。</p>			

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果	
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	障23	a	b · c
<p><コメント></p> <p>必要な利用者には、個別に社会資源や福祉サービスの情報提供を行い。地域との交流は自転車店として利用者にも接客を行うこと地域での祭りやイベントにも出店しており交流を図っている。今後もより積極的に地域とかがわっていくことを期待したい。</p>			
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	障24	a	b · c
<p><コメント></p> <p>ボランティア受け入れ体制は確立されているが、マニュアル等の明確な整備が無い。ボランティアや学校の職場体験を受入れることは、地域社会と事業所をつなぐ一つの手段であるため、社会福祉事業の理解を進めるためにもボランティア等の受入れを想定し、受入れマニュアルの作成や体制の整備をされることを期待する。</p>			
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	障25	a	b · c
<p><コメント></p> <p>地域に開かれた事業所を目指して、地域を巻き込んだネットワーク作りに取り組んでいる。パート職員を含め必要な情報は共有するよう努めており、個々に社会資源の橋渡しをしている環境であり現地での聞き取り当日も民放での取材を受けるなどし社会資源としての連携を行っている。</p>			
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	障26	a	b · c
<p><コメント></p> <p>ハローワーク、市役所等の関係機関との関係を築いており、地域の障害者及び就業希望者に関する変わる福祉ニーズなど情報共有を適宜得ている。リモートであったり情報が対面で得られる交流機会の減少でニーズ把握が困難な状況であったことあるが時世が戻りつつあるので今後の向上に期待したい。</p>			
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	障27	a	b · c
<p><コメント></p> <p>地区のハローワークや障害者就業などと連携している。SDGsの中で社会福祉事業のみでなく地域貢献活動が重要になってくると考えており行動にも移していることが聞き取りから伺える。地域の自転車組合に加入し組合活動を通じて地域の課題や情勢などの情報収集に努めている。更に地域のコミュニティに対する貢献なども多数検討していくことも期待される。</p>			

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	障28	a · b · c
<p><コメント></p> <p>法人の基本理念や行動理念が、毎年度の事業計画にも記載されており、その都度振返りをする機会がある。理念に沿って、就労支援だけでなく、生活支援においても利用者の意向を尊重し、関係者と連携しながら支援している。</p>		
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	障29	a · b · c
<p><コメント></p> <p>個人情報の取り扱いについて、誓約書の取り交わしを行っている。不適切な事案が発生した時には、法人内で調査・是正措置を検討する体制がある。また、利用者からの個人的な相談を受ける時も、周囲に聞こえないように別室で話をするなどの配慮している。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	障30	a · b · c
<p><コメント></p> <p>利用者本人だけでなく、関係者にも作業内容を説明し、自転車店をイメージしやすいようにしている。見学の際、利用希望者にいくつかある作業を実際に体験してもらい、パンフレットからは得られない情報も把握してもらおう工夫をしている。</p>		
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	障31	a · b · c
<p><コメント></p> <p>サービス開始時は、サービス管理責任者が重要事項説明書・利用契約書・雇用契約書等で事業所の方針、サービス内容等について標準的な手順に沿って利用者・家族等に分かりやすく丁寧に説明し同意を得ている。サービスの変更時は、利用者、家族等の意向に沿ってサービス管理責任者と職員で話し合い、変更後のサービス内容や今後の見通しなどわかりやすく説明している。</p>		
Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	障32	a · b · c
<p><コメント></p> <p>事業所の変更の際は、家族や相談支援事業所と連携を図り、利用者の意向や状況に応じたスムーズな移行が行われている。サービス終了後も相談ができる体制であり相談窓口についても伝えることによりサービスの継続性に配慮した対応に努めている。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	障33	a · b · c
<p><コメント></p> <p>定期面談を行い、適宜要望や相談を受け付けられるよう1対1で話ができる時間を設けるよう努めている。日常的な支援の中でのコミュニケーションを通じて、要望や意見などを積極的に取り入れるよう努めている。退所者のサービスの継続性を維持するため、手続きに関するマニュアル整備・引継ぎ時の記録を残すことを期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	障34	a · b · c
<p><コメント></p> <p>苦情解決の仕組みは確立し掲示もしている。利用者が声を挙げやすいように日常的に話し合える関係づくりに取組んでいる。また保護者の意見・要望は職員会議で報告・検討するなど共有化に努めている。</p>		

Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	障35	a	<input checked="" type="radio"/> b	c
<p><コメント></p> <p>利用者からの申し出に対して、迅速に対応できる体制がとられている。個別で職員が対面だけでなく、電話やSNSでの相談にも対応している。今後は、意見箱の設置、相談窓口の掲示・周知等により意見を述べやすい環境を整備するとともに、必要に応じ複数の職員で検討・対応されることに期待したい。</p>				
Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	障36	a	<input checked="" type="radio"/> b	c
<p><コメント></p> <p>利用者からの相談、意見や要望があった場合は、週1回行われる会議にて共有されている。希望する就労先や作業内容への相談があった場合にも迅速に対応しており組織的な対応の早さが見られた。</p>				
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。				
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	障37	a	<input checked="" type="radio"/> b	c
<p><コメント></p> <p>事故発生時における対応のマニュアルの整備、周知はされている。職員が少人数で状況の把握・共有はしやすい状況ではあるが、作業場所での安全管理や工具の管理方法の徹底など可視化することなどより一層のリスク管理が望まれる。</p>				
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	障38	a	<input checked="" type="radio"/> b	c
<p><コメント></p> <p>感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。有事の際に適切に対応できるよう、医療関係者や法人内の看護師等の専門的知識を有する方の助言や指導の下、新型コロナウイルス以外の感染症に対応するマニュアルの作成をしボリュームを増やしていくことにも期待したい。</p>				
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	障39	a	<input checked="" type="radio"/> b	c
<p><コメント></p> <p>BCP計画(事業継続計画)を策定している。防災訓練・避難訓練等を実施し、災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。ハザードマップ上を見ても事業所が孤立することは考えづらいが、万々に備えて「備蓄リスト」などを作成することが求められる。</p>				

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果		
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。				
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	障40	a	<input checked="" type="radio"/> b	c
<p><コメント></p> <p>研修や会議により、パート職員を含めた職員へ周知されている。施設外就労先においては不透明な部分もあるためマニュアル通りに実施しているか否かの状況を、確認する仕組み作りが必要となる。</p>				
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	障41	a	<input checked="" type="radio"/> b	c
<p><コメント></p> <p>標準的な実施方法としてのマニュアルに沿った支援の実施は確認方法が定まっていないが、個別支援計画に基づいた支援の実施、内容の検証は行えている。見直しに関する手順等を定め、文書化して適切な見直しを行うことが望まれる。</p>				
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。				
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	障42	a	<input checked="" type="radio"/> b	c
<p><コメント></p> <p>利用者や施設職員、相談支援専門員、サービス管理責任者が面談し、アセスメント様式に記入して支援ニーズ、目標や支援内容を具体的に明示しており、本人・家族の意向を踏まえた個別支援計画を策定している。職員により内容に差異が生じる可能性がある。この差異を最小限に留めるためにも、手順や留意事項などを定めたマニュアルの作成が望まれる。</p>				

Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	障43	a	b	c
<p><コメント> 定期的にモニタリングが実施されており、定期のモニタリング以外にも利用者からの要望や意見に基づき、必要に応じて個別支援計画の変更がされている。今後、より多くの職員が関わることのできる仕組みの整備を期待したい。</p>				
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。				
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	障44	a	b	c
<p><コメント> サービスの提供に関する記録は個別支援計画に基づくサービス提供が分かるものになっており、1人1つの個別ファイルが用意され、個別支援計画や面談の記録など閲覧できるようにしている。より良い情報源となるため記録の書き方等に差異が生じない工夫や取組みを期待したい。</p>				
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	障45	a	b	c
<p><コメント> 個人別のファイルが用意され、フェイスシートや個別支援計画、ケース記録が一元的に管理されている。また、ファイルの保管場所も施錠可能である。個人情報ガイドラインに沿った管理を行うと共に記録に関する規程の策定、取り扱いマニュアルの作成及び職員研修も今後の検討課題とされたい。</p>				

【内容評価基準】

A-1 利用者の尊重と権利擁護

				第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重				
A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	障46	a	b	c
<p><コメント> 利用者のニーズや障害の状況に配慮しつつ、利用者の意向を尊重しながら主体的な活動を大切に支援している。希望に応じて作業内容を変更するなど柔軟に対応している。</p>				

A-1-(2) 権利擁護

A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	障47	a	b	c
<p><コメント> 年1回、権利擁護に関する研修を行う。「虐待・身体拘束適正化のための指針」が作成され委員会を設置して年1回の以上の研修計画も明記し取組が行われている。虐待等を含む研修ではなく権利擁護して独立した研修の開催や権利擁護チェックリスト、振り返り表」などの作成、職員研修計画の立案等、今後の取組に期待したい。</p>				

A-2 生活支援

				第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本				
A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	障48	a	b	c
<p><コメント> 身辺自立をしている利用者が多く、作業場所の整理整頓を自主的に行う取組みをしている。ADLが低下しても、可能な限り自立した生活が継続できるよう支援している。障害特性のみではなく高齢に伴うADLの低下が見られる利用者に対して現状維持・向上を視野に入れて個別支援計画に基づいて支援内容を共有化するなど障害のみではQOLを中心にした安全で配慮のある支援を行っている。</p>				
A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	障49	a	b	c
<p><コメント> 視覚障害のある方には、大きな文字の配布物、聴覚障害のある方には、日常的に文字アプリを使用し、必要に応じて手話通訳の手配を行う。会話の苦手な方には話をする時間を意識的に設けている。多角的な視点を持ったコミュニケーション支援として、事業所内で統一した取組が行われることを期待したい。</p>				

A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	障50	a · <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント> 利用者からの相談には、緊急時以外は休憩時や仕事後に時間を作るなどの対応をしている。利用者からの話や相談を受ける機会が、より増加するような仕組みづくりを期待したい。</p>		
A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	障51	a <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント> 作業の内容に関しては、利用者の希望を聞き、利用者自身で選べるようにしている。新しい作業を提供したり、ニーズに合わせた選択ができるよう取り組んでいる。利用者のほとんどが自立しているため、余暇時間についてはそれぞれの意思で思い思いに過ごしている。レクレーションなど企画されることも今後の課題である。</p>		
A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	障52	a <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント> 利用者間の関係調整を必要に応じて行っている。利用者の生活の状況や行動を把握し、支援方法等の検討と理解、共有化に努めている。専門的な知識を身につけるため研修や資格取得のサポートは行われている。</p>		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	障53	a · <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント> 現在の利用者の大部分は、日常生活の多くのことを自力でこなせている。体調不良時等、やむを得ない場合には送迎や通院の付き添いなど行う。職員は個別支援計画に基づき、利用者の状況や状態を把握しできることは利用者自身が行い難い部分については支援を行い、利用者ができる限り自立した生活を続けられるように努めている。</p>		
A-2-(3) 生活環境		
A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	障54	a · <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント> 職員・利用者が安全な環境の下で安心して働けるように、使用する場所や道具などに配慮している。酷暑が続くこともあり空調機器も新調し環境改善に配慮している。危険因子が発見された場合には、随時改善するように手配したり、動線となる通路は広くとり動きやすくしている。</p>		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	障55	a <input checked="" type="radio"/> · b · c
<p><コメント> 就労の準備に備え立位、座位を反復する作業を推奨することにより体力の向上を図っている。全身を使った作業から細かい手先の作業も行われているので機能訓練としても成立している。</p>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	障56	a <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント> 毎日のバイタルチェックを行い、健康状態の把握をしている。体調不良時には、関係機関と連携して情報を共有している。体調不良時の対応手順が定められておらず、今後の整備に期待をしたい。</p>		
A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	障57	a <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント> 利用者の体調不良時は、管理者の責任で迅速な対応することは明確になっているが実施手順がない。利用者の「病名、内服薬、受診状況の把握」はできているため、利用者の障がいに関する専門的な知識や支援方法の研修を行うなど、安全管理体制の構築も重要と思われる。</p>		

A-2-(6) 社会参加、学習支援			
A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	障58	a	b · c
<p><コメント></p> <p>利用者自身が決める事を基本に希望を聞いたりして、地域へのイベント参加やお出掛けの取り組み支援を行っている。社会参加として利用者の地域生活への関心や興味を引き出すためにも今後の情報提供に期待をしたい。</p>			
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援			
A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	障59	a	b · c
<p><コメント></p> <p>サービスの追加に伴う支援を実施している。他の福祉サービスを利用したい等の希望があれば相談支援員と連携し利用者に施設の内容、条件、ルールなどについて説明したり見学に同行する等の支援を行っている。他の機関と協力して、利用者と時間をかけて自己決定に導いている。場合によっては仲介する事も行っている。今後は、利用者一人ひとりの希望や意向を把握し、地域生活を継続する取組みの工夫や希望する社会生活が維持されるよう、生涯学習等の情報提供、資格取得のための支援等を検討されることも期待したい。</p>			
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援			
A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	障60	a	b · c
<p><コメント></p> <p>利用者の家族が来所され作業状況確認や利用者について説明を希望される場合は丁寧に対応している。利用者の体調不良時の電話連絡を行っている。利用者の自己判断ができる状況が多く、定期的な家族への連絡は行っていない。家族支援は事業所としてどのように関わりを展開されるか、今後の課題と思われる。</p>			
A-3 発達支援			
			第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援			
A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	障61	a	b · c
<p><コメント></p> <p>評価外項目につき未入力</p>			
A-4 就労支援			
			第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援			
A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	障62	a	b · c
<p><コメント></p> <p>就労するにあたり、挨拶マナーを大切に挨拶を大切にコミュニケーションを交わしている。利用者のニーズや能力に応じて、自転車修理作業や清掃作業などを選択して就労支援を行っている。利用者がやりたいことを優先させる事により、就労意欲につながっている。一般企業やハローワークの情報を活用、利用者情報に共有して就職フェアなどに職員と一緒に参加するなど、一般就労への移行の取組を検討されたい。</p>			
A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	障63	a	b · c
<p><コメント></p> <p>作業内容は、利用者の障害特性や意向を確認しながら、複数のメニューから職員が段階に応じて選択し、利用者や相談しながら決定している。初心者でも取り組みが可能なように段階的に設定しており多岐にわたる作業を提供し適切な作業工程に従事できるように配慮がなされている。</p>			
A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	障64	a	b · c
<p><コメント></p> <p>関連企業や地元企業との定期的な連携をとり、施設外作業の実施場所の確保、並びに利用者の特性を把握した上で就職先の斡旋、利用者の職場定着支援を行っている。今後、多分野への職場開拓にも取り組んで、職場拡充につながるよう期待している。</p>			